

『図説建築構造設計』お詫びと訂正

本書（第1版第1刷）に以下の誤りがございました。読者の皆様にお詫び申し上げますとともに、以下に訂正いたします。（学芸出版社編集部）

■2章

- ・40 頁図 2・10 「ウェットフェーン」「ドライフェーン」の説明語句の配置が逆。
- ・43 頁式 2・6
(誤) $\sin a = \frac{\cos \phi \sin t}{\cos h}$ (正) $\sin a = \frac{\cos \delta \sin t}{\cos h}$
- ・48 頁右段 7 行目 参照先: 「p.84」→「p.82」
- ・49 頁式 2・21 (誤) $\varepsilon_{sky} = (1 - (1 + \xi)) \exp(-(1.2 + 3.0\xi)^{0.5})$ (正) $\varepsilon_{sky} = 1 - (1 + \xi) \exp(-(1.2 + 3.0\xi)^{0.5})$
- ・49 頁式 2・22 $f \rightarrow p$

■3章

- ・71 頁右段下から 2 行目 「図 3・26」→「図 3・24」

■4章

- ・95 頁式 4・2、式 4・3 説明中、ステファン・ボルツマン定数の単位 「W/m²K」→「W/m²K⁴」
- ・96 頁右段 10 行目 「ボルツマン係数」→「ステファン・ボルツマン定数」
- ・97 頁左段下から 11 行目と式 4・10 「温度伝導率 a [m²/K]」→「温度伝導率 a [m²/s]」
- ・100 頁表 4.2 「熱貫流」→「熱貫流率」
- ・108 頁式 4.28 「放射熱伝達率 [W/m²]」→「放射熱伝達率 [W/m²K]」
- ・108 頁式 4.29 「対流熱伝達率 [W/m²]」→「対流熱伝達率 [W/m²K]」
- ・109 頁左段 4 行目 「(式 4・9)」→「(式 4・32)」
- ・109 頁式 4・34 「総合熱貫流率 [W/K]」→「総合熱貫流率 [W/m²K]」
- ・109 頁式 4・35-3) 「R」→「Rair」
- ・110 頁左段 10 行目 「R」→「Rair」
- ・110 頁式 4・36 右辺の「R」→「Rair」
- ・110 頁式 4・38-3、式 4・39 右辺の「R'」→「Rair'」
- ・110 頁右段下から 7 行目 「[kg/m²]」→「[kg/m²s]」
- ・112 頁左段下から 6 行目 「図 4・45」→「図 4・46」
- ・113 頁式 4・43 「空気の比熱 [J/kg]」→「空気の比熱 [J/kgK]」
- ・114 頁式 4・48 「外表面の対流熱伝達率」「外表面の放射熱伝達率」「屋外側の総合熱伝達率」の単位 [W/(m²K⁴)] → [W/m²K]
- ・120 頁左段下から 9 行目 「余熱」→「予熱」

■5章

- ・135 頁表 5.2 「フタル酸-n-プチル」→「フタル酸-n-ブチル」

■6章

- ・147 頁図 6-5 「暮らしを取りまくさまざまな騒音」→「吸音のための建材」
- ・151 頁右段下から 1-2 行目 「 ρc 」→「 ρc 」 ρ の定義の後に「c: 音速[m/s]」を追加
- ・156 頁図 6-20 N 曲線全体が約 1dB 下にずれている→500Hz 帯域で N 値と dB 値が一致するのが正しい
- ・158 頁式 6-23 「 4π 」→「 2π 」
- ・160 頁式 6-30 左式 「E」→「Es」
- ・160 頁式 6-31 $1/4 \pi d^2$ の後の「-」→「+」
- ・160 頁式 6-33 分子 「kV」→「KV」
- ・163 頁右段 20 行目 「式 6・34」→「式 6・38」
- ・167 頁式 6-39 空気層・板厚・孔径の単位 「mm」→「m」 「c:音速[m/s]」を追加
- ・170 頁問 3 解答図: N 曲線全体が約 1dB 下にずれている→500Hz 帯域で N 値と dB 値が一致するのが正しい